



7/23 バスケット楽しいな 東京オリンピック銀メダリストに学ぶ

東京オリンピックで銀メダルに輝いたバスケットボール女子日本代表の高田真希選手が土岐ミニバスケットボールクラブを訪れ、子どもたちに指導しました。真剣な表情で練習に臨む子どもたちに高田選手は「試合本番で焦らないために、普段から基本をしっかりやっておくことが大切」「いろいろ考えながらやると、もっとバスケットが楽しくなる」などのアドバイスを送りました。



7/31 悲願の優勝目指して 持てる力の全てを出し切ります

8月7日に山県市で開催される第71回岐阜県消防操法大会に土岐市代表として出場する下石分団の壮行会が行われ、100人を超える関係者らが会場に駆け付けました。出席者から温かいエールを受け取った林立之分団長は「土岐市初めての県大会優勝を持ち帰ることができるよう、残す1週間全力で取り組みたい」と力強く意気込みを語り、悲願の優勝を誓いました。



7/19 砂防施設ってすごい！ 濃南小学校の児童が土砂災害を学ぶ

土砂災害の仕組みや砂防施設の役割などを学ぶ「砂防教室」が濃南小学校で開かれ、4年生から6年生までの児童約40人が参加しました。教室では、実際に起こった土石流や土砂崩れの映像を見た後、山の斜面に見立てた模型を使い、砂防堰堤がある場合とない場合の被害の違いを体験しました。参加した児童からは「砂防堰堤によって命が守られていることを知りました」「すぐ避難できるようにしたい」などの感想が話されました。



▲降雨体験車で、1時間に降る20ミリ、50ミリ、120ミリの雨を体験

7/4 開館1周年の市電子図書館 より有効に利用するためには…

市電子図書館をより有効に利用してもらうための出前講座が濃南小中学校で開かれました。参加した児童たちは、電子図書館へのログイン方法や書籍の借り方を学んだほか、千を超える蔵書の中から、借りたい書籍を見つけ出すための多様な検索方法を学びました。講座を受けた児童からは「読んでみたい本を探すことができた」などの声が聞かれました。



7/6 粘土って面白い 土岐津中学校の生徒が抹茶茶わん作り

土岐津中学校の1年生が手びねりによる抹茶茶わん作りを体験しました。生徒たちは、指先の力加減が難しく口が開いていく茶わんに苦戦しながらも、粘土に触れる感覚を楽しんでいました。講師を務めた陶芸家の曾根洋司さんは「粘土に触れる機会が少ないけれど、粘土の楽しさを忘れず地場産業に誇りをもち続けてほしい」と思いを語りました。



7/21・22 給食をつくる工程にせまる 今日からキミも給食センター探検隊

普段は入ることができない給食センターを親子で見学するイベント「給食センター探検隊」が開かれ、2日間で約90人が参加しました。参加者たちは、用意された13のミッションをクリアしながら、センター内を探検。「千人釜」と呼ばれる直径1メートルほどの釜では、子どもたちが身の丈にせまるひしゃくを使って、具材をかき混ぜる工程を体験しました。



7/9・23・30 鑄込みの型から作ったよ 親子でマイ風鈴作り

量産を得意とする「鑄込み」で風鈴を作る講座がセラテクノ土岐で行われました。毎年大人気のこの講座、今年は石こうで鑄込みの型を作るところから始め、鑄込み、絵付けと釉薬掛けの3つの工程に分けて行いました。参加者は「型から作ったことで、オリジナルの風鈴というのが嬉しい。絵付けにも力が入る」などと話し、風に揺れる風鈴を想像しながら絵付けをしていました。

